

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	政治Ⅱ		担当者	下地	科目必修区分	必修
授業概要	政治Ⅰで学んだ内容を前提に現代の日本及び国際政治の動向について問題演習を通して理解を深めていく。また、時事問題にも触れ、日本や主要国の政治ニュースの背景や政府の方針について考察していく。本講義は、テーマに沿って問題演習と解説を行っていく。					
到達目標	①政治Ⅰで修得した知識を踏まえ、現代の日本の政治及び国際政治の動向や民主政治の本質について理解を深め、現代政治についての見方や考え方を修得する。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	政治の基本概念				1
		政治制度(権力分立と諸外国の政治制度)				
	2	政治過程論(政党と選挙制度、圧力団体と立法過程)				1
		大日本帝国憲法と日本国憲法の比較、日本国憲法の三大原則				
	3	基本的人権(人権保障の歴史と分類、公共の福祉と国民の義務)				1
		幸福追求権と新しい人権				
	4	平等権				1
	5	精神的自由権				1
		経済的自由権				
		人身の自由				
	6	社会権				1
		能動的権利と受益権				
	7	憲法改正の手続き				1
		国会の機構と運営				
		内閣の機構と運営				
	8	裁判所の機構と運営				1
	9	地方自治				1
10	総合問題				6	
11						
12						
13						
14						
15						
16						
	合計時間数					15
教科書	大原出版株式会社 政治テキスト・問題集・解答・レジュメ					
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15～30分程度					
	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30～60分程度					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	経済Ⅱ		担当者	下地	科目必修区分	必修
授業概要	経済Ⅰで学んだ現代日本の経済の仕組みや国際政治の動向について問題演習を通して理解を深めていく。また、時事問題にも触れ、経済のニュースの背景や政府の方針について考察していく。					
到達目標	①経済Ⅰで修得した知識を踏まえ、現代の日本経済及び世界経済の動向及び現代経済の仕組みや機能について理解を深め、現代経済についての見方や考え方を述べる事が出来る。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	2	経済過去問演習 第1章 経済社会の変容と経済体制				1
	2	経済過去問演習 第2章 現代の企業				1
	3	経済過去問演習 第3章 現代の市場				1
	4	経済過去問演習 第4章 国民所得				1
	5	経済過去問演習 第5章 経済成長と景気循環				2
	6	経済過去問演習 第6章 通貨制度と金融政策				2
	7	経済過去問演習 第7章 財政制度と財政政策				2
	8	経済過去問演習 第8章 貿易と外国為替				1
	9	経済過去問演習 第9章 日本経済の動向				2
	10	経済過去問演習 第10章 国際経済の動向				2
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		合計時間数				
教科書	大原出版株式会社 政治・経済・社会 テキスト・問題集・解答・レジュメ					
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15～30分程度					
	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習、問題の解き直しを行う ※30～60分程度					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和7年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	社会Ⅱ		担当者	伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	社会Ⅰで行われた授業を基に、演習を行いながら労働問題や社会保障、環境問題や国際関係等の社会全般の知識と時事問題の知識を身に付けていく。					
到達目標	①身近な例を挙げながら、現代社会が抱える問題について説明することができる。 ②社会分野の問題に対し、平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	労働問題分野(労働法規や日本の労働状況について)				4
	2	社会保障分野(国内外における社会保障制度と状況について)				4
	3	環境問題分野 (日本の公害問題や近年の環境対策、世界の環境汚染の現状と対策、条約について)				4
	4	国際関係分野 (国連の成り立ちと関連機関、国際法と国際情勢について)				3
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
		合計時間数				
教科書	大原出版株式会社 社会 テキスト・問題集・解答・レジュメ					
時間外 学習	予習は不要ですが、できる限り1日1回はニュースに目を通しておいください。					
	復習:演習問題の見直し、テキストで重要項目の確認を行うこと ※30～60分程度					
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	倫理Ⅱ		担当者	新崎	科目必修区分	必修
授業概要	倫理Ⅰにおいて学んだ東洋及び西洋の主要な思想家とその思想の特徴について総合的な問題演習と各思想の解説を行っていく。					
到達目標	①倫理Ⅰにおいて修得した東洋及び西洋の主要な思想家とその思想の特徴についての知識を深める。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ギリシャ哲学 演習問題				1
	2	キリスト教思想 演習問題				1
	3	啓蒙思想 演習問題				1
	4	ドイツ観念論 演習問題				1
	5	功利主義哲学 演習問題				1
	6	実存主義哲学 演習問題				1
	7	構造主義 演習問題				1
	8	ヒューマニズム 演習問題				1
	9	仏教思想 演習問題				1
	10	中国の思想 演習問題				1
	11	日本仏教思想 演習問題				1
	12	儒学 演習問題				1
	13	明治キリスト教思想 演習問題				1
	14	総合演習問題				3
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	合計時間数					16
教科書	大原出版株式会社 思想(倫理) テキスト・問題集・解答					
時間外学習	復習:問題の見直し、テキストを使用し、各思想の要点の確認を行うこと ※30～60分程度					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価する 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	時事問題		担当者	新崎 哲也	科目必修区分	必修
授業概要	近年に起きた政治、経済、国際、社会一般における事象について解説する。各学生はそれぞれの問題を考察し、自身の考えをまとめ、問題演習を通して理解を深めていく。					
到達目標	①世界情勢や日本情勢についての知識を修得し、時事的問題を説明することが出来る。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	政治に関する時事(インターネット選挙、1票の格差、ポピュリズムなど)				1
	2	政治に関する時事(憲法改正手続き、政令指定都市、日米安保など)				2
	3	経済に関する時事(GDP・GNP、インフレ、国債、M&Aなど)				1
	4	経済に関する時事(貿易統計、有効求人倍率、完全失業率など)				2
	5	社会・文化に関する時事(格差社会、生活保護、待機児童など)				2
	6	社会・文化に関する時事(年金制度、北京オリンピック、プログラミングなど)				2
	7	科学・自然に関する時事(SNS、AI、ネット犯罪、ドローンなど)				2
	8	科学・自然に関する時事(地球温暖化、エルニーニョ、ラニーニャ現象など)				1
	9	国際関係に関する時事(国際連合、PKO、IAEA、NATOなど)				1
	10	国際関係に関する時事(核開発、CTBT, EU、WHO、米大統領など)				1
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		合計時間数				
教科書	大原出版株式会社 公務員試験頻出時事					
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15～30分程度					
	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30～60分程度					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和7年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	世界史Ⅱ		担当者	古堅	科目必修区分	必修
授業概要	世界史Ⅰにおいて学んだ知識の定着を図るため、西洋、及び東洋の各国の政治、経済、文化等の歴史に関する問題の演習とその問題の解答、解説を行う。					
到達目標	①西洋及び東洋各国の歴史の流れと各国の関係性に対する理解を深め、歴史的思考力を高め、自己の人間形成に活かせる能力を修得する。 ②世界史各分野の評価テストにおいて平均正答率80%到達を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 古代文明 問題演習と解答解説				1
	2	第2章 中国史(1) 問題演習と解答解説				1
	3	第3章 中国史(2) 問題演習と解答解説				1
	4	第4章 中国史(3) 問題演習と解答解説				1
	5	第5章・6章 周辺諸国・イスラム世界 問題演習と解答解説				1
	6	第7章 古代地中海世界 問題演習と解答解説				1
	7	第8章 中世ヨーロッパ 問題演習と解答解説				1
	8	第9章 近代ヨーロッパ 問題演習と解答解説				1
	9	第10章 16世紀～18世紀のヨーロッパ 問題演習と解答解説				1
	10	第11章 市民社会の成長 問題演習と解答解説				1
	11	第12章 19世紀前半の欧米 問題演習と解答解説				1
	12	第13章 19世紀後半の欧米 問題演習と解答解説				1
	13	第14章 第1次世界大戦 問題演習と解答解説				1
	14	第15章 ヴェルサイユ体制とアジアの民族運動 問題演習と解答解説				1
	15	第16章 第2次世界大戦 問題演習と解答解説				1
	16	第17章 第2次世界大戦後の世界 問題演習と解答解説				1
	17	総合 問題演習と解答解説				29
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	合計時間数				45	
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、過去問プリント					
時間外学習	模擬試験終了後、問題の解き直しや重要事項のノート作成に1時間以上取り組むこと。 スタンダード問題集、実践問題集の問題演習5問以上行うこと。					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価する 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	日本史Ⅱ		担当者	伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	日本の古代から現代にいたる政治、経済、文化の変遷、諸外国との関係を学び、現代の日本の成り立ちを理解する。					
到達目標	1. 我が国の歴史を世界史や地理的条件と関連付け、総合的な歴史観を身に着ける。 2. 日本の伝統、文化、国民性を理解し、歴史を通して主体的思考力を養う。 3. 日本の政治、経済、文化の歴史についての評価テストの平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	公務員試験過去問演習(日本史) 通史①～⑧				8
	2	公務員試験過去問演習(日本史) 近現代①～⑥(明治～平成)				6
	3	天皇・貴族の文化(飛鳥～平安時代)についての講義				1
	4	武士の文化(鎌倉～織豊政権)についての講義				1
	5	町人の文化(江戸時代)についての講義				1
	6	公務員試験過去問演習(日本史) 古代(縄文～平安)				1
	7	公務員試験過去問演習(日本史) 中世(鎌倉・室町)				2
	8	公務員試験過去問演習(日本史) 近代(江戸時代)				3
	9	公務員試験過去問演習(日本史) 近代(明治時代)				3
	10	公務員試験過去問演習(日本史) 近代(大正～昭和初期)				2
	11	公務員試験過去問演習(日本史) GHQの統治と戦後の日本				2
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		合計時間数				
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集					
時間外学習	過去問の出題分野を確認し、テキストを読み込む(30分程度)。 復習の時間でノート作成や問題の解き直し等に取り組む。					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価する 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	国語表現(漢字)	担当者	古堅	科目必修区分	必修
授業概要	普段何気なく使っている日本語、思わぬ勘違いや思い違いも多く見られます。日本語や漢字を正しく使えるようになるための実践を身につけるため、漢字検定のテキストおよび過去問を活用し、日本語の知識や運用能力を養っていきます。				
到達目標	①社会人基礎力としての国語力を高めるため、漢字検定準2級合格を目標とする ②常用漢字を提出 ③評価テストにおいて平均点80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	演習 漢字の読み、同音・同訓異字			3
	2	演習 漢字の識別、部首			3
	3	演習 熟語構成			3
	4	演習 対義語・類義語			3
	5	演習 四字熟語			3
	6	演習 送り仮名			3
	7	演習 誤字訂正			3
	8	演習 書き取り			3
	9	過去問題演習			8
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
		合計時間数			
教科書	漢字検定テキスト、ドリル、過去問題				
時間外 学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。				
	復習の時間で問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。				
成績評価 方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価				
	出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科 2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	地理Ⅱ		担当者	古堅	科目必修区分	必修
授業概要	日本や世界の環境や文化、地形の成り立ち等を学び、地域的、社会的な構造を学ぶとともに、地政学的知識により、現代社会の諸問題を考察する。					
到達目標	1.過去問を解き、問題文の中の間違った箇所を自分で正しく修正できるようになる。 2. 模擬試験や評価テストにおいて、平均正答率80%以上取得できるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 自然環境と地図	過去問演習・解説			2
	2	第2章 資源と産業	過去問演習・解説			2
	3	第3章 生活と地域	過去問演習・解説			2
	4	第4章 日本の地理	過去問演習・解説			2
	5	第5章 世界の国々	過去問演習・解説			3
	6	総合地誌	過去問演習・解説			3
	7	海上保安特別	過去問演習・解説			2
	8	国家一般職	過去問演習・解説			2
	9	裁判所一般職	過去問演習・解説			2
	10	刑務官	過去問演習・解説			2
	11	海上保安・入国警備官・皇宮護衛官	過去問演習・解説			2
	12	東京特別区	過去問演習・解説			2
	13	警視庁Ⅲ類	過去問演習・解説			2
	14	消防庁Ⅲ類	過去問演習・解説			2
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		合計時間数				
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル					
時間外学習	各章終了後、授業に応じた実践問題集を解く					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(15P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	演習・講義	講義時期	前期
授業科目	生物Ⅱ		担当者	少貳	科目必修区分	必修
授業概要	生物Ⅰにて学んだことを基に、細胞の機能、各生物の特徴、体内のしくみなどの基礎的知識について演習問題を通して学びを深めていく。					
到達目標	細胞や生物、体内のしくみなど各項目についての評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 生体の構造 問題演習				2
	2	第2章 第1節 酵素 問題演習				1
	3	第2章 第2節 呼吸 問題演習				1
	4	第2章 第3節 同化作用 問題演習				1
	5	第3章 生殖と発生				1
	6	第4章 第1節 メンデルの法則 問題演習				2
	7	第5章 第2節 神経系とそのはたらき				1
	8	第6章 第1節 体液と循環系				1
	9	第6章 第2節 からだの防衛反応				1
	10	第6章 第3節 肝臓と腎臓のはたらき				1
	11	第6章 第4節 自律神経とホルモンによる調節				1
	12	第6章 第5節 いろいろな調節				1
	13	第6章 第6節 植物の調節と反応				1
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		合計時間数				
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実戦問題集、プリント					
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。 復習の時間でノート作成や問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	地学Ⅱ		担当者	少貳	科目必修区分	必修
授業概要	太陽系の構成や宇宙の構造などの基礎的知識を身につけ、地球が受ける恩恵や自然災害など、身近な問題を考察する。					
到達目標	1. 現在起きている(起こりうる)地学現象の仕組みを説明することができる。 2. 地形や地域から、起こりうる災害を予想し、分析することができる。 3. 宇宙の構造を知り、地球の成り立ちや変化を説明することができる。 4. 藻魏試験、過去問演習の正答率80%以上。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 第1節 地球の形と内部構造 過去問演習				1
	2	第1章 第2節 動く大地 第3節 地震 過去問演習				2
	3	第1章 第4節 プレートと日本列島 過去問演習				1
	4	第2章 岩石 過去問演習				1
	5	第3章 第1節 大気の大気構造と地球の熱収支 過去問演習①②				1
	6	第3章 第2節 雲と降雨 過去問演習				1
	7	第3章 第3節 地球をめぐる大気 過去問演習				1
	8	第3章 第4節 気象現象と日本の四季 過去問演習				2
	9	第4章 第1節 地球の運動 過去問演習				1
	10	第4章 第2節 太陽系と惑星 第3節 恒星の世界 過去問演習				1
	11	第5章 第4節 地質年代と日本列島の変遷 問題演習				1
	12	国家一般職・専門職・地方公務員 職種別過去問演習				3
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		合計時間数				
教科書	資格の大原 公務員講座 地学テキスト スタンダード問題集 実戦問題集					
時間外学習	図書館等を利用し、図鑑を読み、イメージを膨らませる。					
	NHK高校講座、NHKサイエンスZEROを視聴を奨める					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	数的推理Ⅱ	担当者	少貳	科目必修区分	必修
授業概要	この授業では、数的処理Ⅰ(速さ・仕事算・場合の数・割合)を土台に、数学的・算術的な応用問題を解くことにより、思考力・推理力を高める。 国家一般職高卒者、地方初級、警察官、消防官の数的処理の過去問演習と解説授業を実施。				
到達目標	公務員試験に出題される、方程式・割合・速さ・整数計算パズル・仕事算・場合の数・確率の評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	スタンダード問題 第6章			2
	2	スタンダード問題 第7章			2
	3	実戦問題集Ⅰ 第1章			2
	4	実戦問題集Ⅰ 第2章			2
	5	実戦問題集Ⅰ 第3章			2
	6	実戦問題集Ⅰ 第4章			2
	7	実戦問題集Ⅰ 第5章			2
	8	実戦問題集Ⅰ 第6章			2
	9	実戦問題集Ⅰ 第7章			2
	10	演習① 速さⅠ			1
	11	演習② 速さⅡ			1
	12	演習③ 濃度Ⅰ			1
	13	演習④ 仕事算Ⅰ			1
	14	演習⑤ 数列・規則			1
	15	演習⑥ 場合の数・確率			1
	16	演習⑦ 速さⅢ			1
	17	演習⑧ 速さⅣ			1
	18	演習⑨ 速さⅤ			1
	19	演習⑩ 不定方程式			1
	20	演習⑪ 平均算			1
	21	演習⑫ 確率			1
	22	演習⑬ 道順			1
	23	演習⑭ 約数・倍数			1
	24	演習⑮ 仕事算Ⅱ			1
	25	演習⑯ 年齢算			1
	26	演習⑰ 比と割合			1
	27	演習⑱ 濃度Ⅱ			1
	28	演習⑲ 売買損益			1
	29	模擬試験解説			8
	合計時間数				45
教科書	スタンダード問題集数的処理[問題編・解答編]、実戦問題集Ⅰ[問題編・解答編]				
時間外学習	授業で解いた問題を再度解きなおしを行う。 実践問題集で類似の過去問を解く(5問程度、1問5分以内をめどにする)				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	数的推理Ⅱ		担当者	少貳	科目必修区分	必修
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	演習・講義	講義時期	前期
授業科目	判断推理Ⅱ		担当者	片山	科目必修区分	必修
授業概要	判断推理Ⅰを土台にして、さらに論理的思考力や判断力を高めるため、判断推理の応用問題の演習を行う。特に「位置・方位」「論理」「対応」「順序」など各分野の解法習得を目的とする。具体的には応用問題を解くための文章や表を正確に読み取る能力を養う。					
到達目標	1.文章問題から問題出題者の意図を理解し、図化できるようになる。 2.講義や問題集における演習問題を解くことが出来るようになる。 3.評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 論理①(対偶と三段論法)P3～P7				1
	2	第1章 論理②(ド・モルガンの法則)、(論理と集合)P8～P11				1
	3	第2章 集合の要素の個数①(ベン図)P12～P15				1
	4	第2章 集合の要素の個数②(キャロル図)、(交わりの最小値)P16～P19				1
	5	第3章 順序①(順序の決定)P20～P23				1
	6	第3章 順序②(順序の変動)、(順序の数値条件)P24～P27				1
	7	第3章 順序③(順序の数値条件)P28～P33				1
	8	第4章 対応①(対応関係)P34～P38				1
	9	第4章 対応②(対応の数値条件)P39～P43				1
	10	第4章 対応③(対応の数値条件)、(スケジュール)P44～P50				1
	11	第5章 位置と方位①(位置)P51～P55				1
	12	第5章 位置と方位②(位置)、(方位)P56～P60				1
	13	第6章 勝ち負け①(トーナメント戦)、(リーグ戦)P61～P63				1
	14	第6章 勝ち負け②(リーグ戦)P64～P67				1
	15	第7章 カード①(カード)、(ゲーム)P69、P70				1
	16	第8章 ウソの発言①P71～P75				1
	17	第9章 推理・手順①(推理)P76～P79				1
	18	第9章 推理・手順②(手順)P80～P86				1
	19	第10章 暗号①P87～P91				1
	20	参考 家系図①(別紙プリントで過去問解説)				1
	21	第1章～参考までの過去問題プリント演習 (出題分野はランダムで1枚につき7問程度)				13
	合計時間数				33	
教科書	資格の大原 公務員講座 スタンダード問題集(数的処理)、解答					
時間外学習	授業で解説した問題の解き直しと、その分野の類似問題を解く。(1問5分以内)					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	空間把握・図形Ⅱ		担当者	崎原 竜作	科目必修区分	必修
授業概要	公務員の職務を遂行する上で必要な空間把握能力や、平面図から数値を読み解く力などを養う。特に公務員試験に出題される問題を正答できるレベルまで空間把握能力や数値を読み解き計算できる力を向上させる。					
到達目標	1. スタンダード問題集の問題をすべて正答することが出来る。 2. 実戦問題集の問題をすべて正答することが出来る。 3. 評価テストの平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	スタンダード問題集 折り紙問題 演習解説				1
	2	スタンダード問題集 回転の軌跡 演習解説				1
	3	スタンダード問題集 正多面体と展開図 演習解説				1
	4	スタンダード問題集 平面図形の構成 演習解説				1
	5	スタンダード問題集 見取り図と投影図と積み木問題 演習解説				1
	6	スタンダード問題集 立体の切断と回転体				1
	7	スタンダード問題集 一筆書き				1
	8	スタンダード問題集 平面の計量				2
	9	スタンダード問題集 扇形と移動図形				1
	10	スタンダード問題集 立体の体積				2
	11	達成確認テスト				5
	12	模擬試験 解説授業				14
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		合計時間数				
教科書	資格の大原 公務員講座 スタンダード問題集 数的処理、 実戦問題集 数的処理Ⅰ					
時間外学習	確認テストにて前週の授業の中で解説した問題を出題する。それに合わせて時間外学習にて習得した解法を覚え、確認テストにて正答できるよう授業で行った問題の復習を行うこと。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	演習・講義	講義時期	前期
授業科目	資料解釈Ⅱ		担当者	少貳	科目必修区分	必修
授業概要	資料解釈Ⅰで身に付けた基礎力より、実数・割合・構成比・指数・増加率、など与えられた表やグラフから数値を読み取る能力を身に付ける。その上で実生活に活用できる資料読み取りについての知識を身に着ける。					
到達目標	1. 資料読み取りに関する知識を他者に説明することができる。 2. 表から問題解答に必要な数値を見つけ出し、解答を導きだすことができるようになる。 3. 講義や問題集における演習問題を解くことができるようになる。 4. 上記分野の評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	スタンダード問題集 第1章 実数・割合				2
	2	スタンダード問題集 第2章 構成比				2
	3	スタンダード問題集 第3章 指数				2
	4	スタンダード問題集 第4章 増加率				2
	5	模擬試験解説				10
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
		合計時間数				18
教科書	資格の大原 公務員講座 数的推理編テキスト・スタンダード問題集					
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	文章理解Ⅱ		担当者	古堅雄敏	科目必修区分	必修
授業概要	実社会の業務に必要な文書読み取り能力向上に繋がる文章理解を文章の仕組の理解、要点を掴むことで身に付けさせる。また、ビジネス文書作成の基本となる作文を実践を重ね身に付けさせていく。					
到達目標	長文読解能力を養い、主旨、要旨、筆者の主張を正しく読み取ることができる。 国語の表現力を身に付け、作文、小論文を正しい文章で書くことができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	作文の基本(作文の書き方、作文の構成、相手の共感を得るには)				1
	2	文章理解 文と文章・指示語・接続語 問題演習・解説(テキスト)				1
	3	文章理解問題演習・解説(テキスト・実践問題集)				9
	4	文章理解過去問題演習・解説(模試問題・公務員試験過去問プリント)				10
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	合計時間数					21
教科書	大原テキスト、実践問題集、模試問題					
時間外学習	1日に5問の長文読解問題を解く。1問5分以内で解答を導けるように取り組む。					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年	授業方法	演習・講義	講義時期	前期
授業科目	公務員試験演習Ⅱ	担当者	古堅・少貳・片山・新崎	科目必修区分	必修
授業概要	国家公務員及び地方公務員採用試験の模擬問題の演習を通じて、社会科学分野(政治・経済・社会・思想倫理)、人文科学分野(世界史、日本史、地理)自然科学分野(物理、化学、生物、地学)、数的推理、判断推理、文章理解(現代文、古文漢文、英文)、資料解釈等、教養の総合力を高めていく。				
到達目標	1. 公務員採用試験の1次試験合格。 2. 過去問、模擬試験において、問題数×6割以上の正答率。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	直前模試 公務員総合第1回～第18回			54
	2	直前模試 公務員一般職第1回～第13回			26
	3	直前模試 地方初級 第1回～第18回			54
	4	全国公開模試 国家一般高卒程度 第1回～第3回			6
	5	全国公開模試 市役所・消防			3
	6	全国公開模試 警察官			3
	7	国家一般職過去問題演習			14
	8	適性試験演習			24
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
		合計時間数			
教科書	直前模試(公務員総合・国家一般職・初級) 判定模試(秋受験・一般職) 公開模試				
時間外学習	正答・誤答問題の解きなおし、及び補完知識の学習を行うこと。				
成績評価方法	【出席(30P)】【授業態度(30P)】【評価テスト(40P)】で評価				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	一般教養総合Ⅱ		担当者	崎原・少貳・古堅・片山・新崎	科目必修区分	必修
授業概要	Ⅰ：公務員試験に出題される科目を総合的に復習し、理解度の向上と知識の定着を図る。 Ⅱ：公務員試験を分析し、出題傾向の高い分野を集中的に取り組みと同時に、自身の課題とする科目の克服に取り組む。					
到達目標	1. 公務員試験の教養試験に出題される全範囲の知識と解法を身に着け、解答を導くことができる。 2. 評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。 3. 自分の言葉で聞かれた質問に対して丁寧に返答をすることができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	社会科学分野(政治・経済・社会)における総合演習と解説				15
	2	人文科学分野(世界史・日本史・地理)における総合演習と解説				15
	3	自然科学分野(物理・化学・生物・地学)における総合演習と解説				20
	4	数的処理・空間把握分野における総合演習と解説				30
	5	課題処理分野における総合演習と解説				30
	6	資料解釈分野における講義				10
	7	文章理解分野における総合演習と解説				10
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
		合計時間数				
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル、プリント					
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題の演習					
	復習の時間でノート作成や問題の解き直しを行うこと					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価する。					
	出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	実習・講義	講義時期	前期
授業科目	総合学習Ⅱ		担当者	古堅・新崎・少貳・片山	科目必修区分	必修
授業概要	教育理念に掲げる「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。事後にレポートの提出を義務付ける。					
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	【新入生歓迎ビーチパーティ】 大原・エルケア合同のビーチパーティ(場所:ちゅらさんビーチ)				6
	2	スポーツ実習				6
	3	【親睦会】 大原・エルケア合同の全体スポーツ大会(場所:那覇市民体育館)				6
	4	学園祭				10
	5	ボランティア活動(目的:東南アジアへの井戸設営)				2
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		合計時間数				
教科書	各授業・行事の配布資料					
時間外学習	各授業・行事についての事前準備や調べ学習を行うこと。					
	前後の各実施委員会活動に参加すること。					
成績評価方法	【出席(20P)】【授業態度(40P)】【レポート(40P)】の計100点満点とし、4段階で評価					
	出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	公務員の職務と倫理Ⅱ		担当者	新崎 哲也	科目必修区分	選択
授業概要	公務員の職務と倫理Ⅰにおいて学んだ公務員に求められる資質についての考察を深め、各自のロールモデルを探し、その人物の生き方に学び、公務員として活躍できるよう「志」を立てる					
到達目標	公務員に求められる資質について理解を深め、ロールモデルに近づくための行動目標を設定したうえで、社会人としての「志」を立てる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	科目オリエンテーション				1
	2	公務員の職務と「志」の必要性について				2
	3	公務員として「志」高く生きた先人に学ぶ				2
	4	ロールモデルを持つことの意味、ロールモデルの発表準備				2
	5	ロールモデルの発表				2
	6	公務員の職務と「考える力」の必要性について				2
	7	公務員の職務と「伝える力」の必要性和効果的な「伝え方」について				2
	8	「志」の発表準備				2
	9	「志」の発表				3
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	合計時間数					18
教科書	KBC学園「志学Ⅰ・Ⅱテキスト」・DVD教材「公務員木村俊明の仕事」「吉田松陰」、プリント					
時間外学習	各官庁のホームページ、パンフレット等で各機関、職務についての情報収集を行うこと。					
成績評価方法	出席(20P)【授業態度(40P)】【レポート・発表(40P)】の計100点満点とし、授業に取り組む姿勢や理解度を総合し、4段階(優・良・可・不可)で評価する。					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		予備自衛官(現職)				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	情報科学演習Ⅱ（プレゼンテーション）		担当者	少貳	科目必修区分	選択
授業概要	Powerpointを用いてスライドの挿入や文字の効果、頭や表を挿入することを学ぶことで、基本的なプレゼンテーション能力を習得することを目的とする。					
到達目標	1. サーティファイ主催のPowerPoint®プレゼンテーション技能検定3級試験の取得 2. 検定を通し身に付けた技能を用いて、簡単な資料を作成する。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	PowerPointで実現できることや、特徴についての説明				1
	2	基礎講義1（保存とスライドの操作）				1
	3	基礎講義2（文字書式・段落書式の設定）				1
	4	基礎講義3（画像の操作と設定）				1
	5	基礎講義4（表、テキストボックス、ワードアートの挿入と設定）				1
	6	基礎講義5（図形・ハイパーリンク）				1
	7	基礎講義6（画面の切り替え）				1
	8	テキスト練習問題1 演習				1
	9	テキスト練習問題2 演習				1
	10	テキスト練習問題3 演習				1
	11	テキスト練習問題4 演習				1
	12	テキスト練習問題5 演習				1
	13	テキスト模擬問題1 演習				1
	14	テキスト模擬問題2 演習				1
	15	テキスト模擬問題3 演習				1
	16	模擬試験				3
	17	検定試験				1
	18	パワーポイントを使った資料作成				5
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		合計時間数				24
教科書	サーティファイPowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集					
時間外学習	放課後等を利用し、気になる業界や就職先の説明のプレゼンテーションを作成。					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年	授業方法	演習・講義	講義時期	後期
授業科目	ビジネスコミュニケーション	担当者	古堅	科目必修区分	選択
授業概要	ビジネス能力検定の対策を行うことを通して、社会人基礎力としてのマナーや情報リテラシーを身に付けることを目的とし、学んでいく。				
到達目標	1. 社会における基本的マナーや言葉遣い、電子メールなどを適切に使用できる。 2. 表・グラフを読み取り、内容が理解できる。 3. 仕事の場面を想定したケース問題を読み、適切な解答を導くことが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	第1編 ビジネスとコミュニケーションの基本				
	1	第1章 キャリアと仕事へのアプローチ			1
	2	第2章 仕事の基本となる8つの意識			1
	3	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本			1
	4	第4章 指示の受け方と報告、連絡・相談			1
	5	第5章 話し方と聞き方のポイント			1
	6	第6章 来客対応と訪問の基本マナー			1
	第2編 仕事の実践とビジネスツール				
	7	第1章 仕事への取り組み方			1
	8	第2章 ビジネス文書の基本			1
	9	第4章 統計・データの読み方・まとめ方			1
	10	第5章 情報収集とメディアの活用			1
	11	第6章 会社を取り巻く環境と経済の基本			1
	12	用語の確認			1
	13	過去問題・解説			8
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	合計時間数				20
教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト				
時間外学習	日頃より、経済のニュースに目を通していき、経済用語等に耳を鳴らしておいてください。また、敬語を使う練習をしておいてください。				
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	演習・講義	講義時期	後期
授業科目	卒業研究		担当者	新崎	科目必修区分	選択
授業概要	・就職先の職務内容や課題について考察し、また自らの就職活動についてまとめ、パワーポイントのスライドを用いて発表を行う。 ・日本や世界が抱える諸問題を考察し、現状の課題と解決策を文章にまとめる。					
到達目標	1. 研究内容の情報を収集し、事象を整理し、自らの考えを明確に表現することが出来る。 2. 課題の内容について問題点を見出し、改善方法を考察することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	「沖縄県が抱える諸問題」についての考察・小論文				3
	2	「選挙の投票率低下」についての考察・小論文				3
	3	「人種差別」についての考察・小論文				2
	4	「歴史解釈の問題」についての考察・小論文				2
	5	公務員事務職が抱える課題について				3
	6	公務員公安職の抱える課題について				3
	7	公務員業界全体の課題について				3
	8	パワーポイント発表準備(スライド作成)				15
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
		合計時間数				
教科書						
時間外学習	各省庁のHPや民間企業のHPを確認し、データや情報を収集する。 各小論文のテーマについて前もって調べておくこと					
成績評価方法	【出席(20P)】【授業態度(20P)】【課題・発表(60P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	職業研究Ⅱ		担当者	新崎 哲也	科目必修区分	選択
授業概要	官庁訪問や現職公務員及び公務員経験者の講話、職業研究レポート作成(作文演習)、模擬面接等を通じ、公務員に求められる資質を高めていく。					
到達目標	1. 公務員の仕事内容を理解し、公務員と民間企業の違いを説明することができる。 2. 職業観を養い、公務について説明することができる。 3. 質疑に対して明確に自分の言葉で表現することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	官庁訪問(業務説明会やセミナーへの参加、官庁訪問等)				8
	2	公務員講話				10
	3	各省庁の業務内容についての調べ学習				10
	4	職業レポート作成				10
	5	模擬面接				10
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	合計時間数					48
教科書	各講義やプログラムでの配布資料					
時間外学習	各講義やプログラムの内容を確認し、インターネット等で講師のプロフィールや関係団体の活動内容について調べておくこと					
成績評価方法	【出席(20P)】【授業態度(40P)】【レポート(40P)】の計100点満点とし、4段階で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		予備自衛官(現職)				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員ビジネス科2年	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	企業研修	担当者	古堅・各団体担当者	科目必修区分	選択
授業概要	・学校で学んだ知識や技術を現場で再確認し、「現場での実践」を体験する事で自身の学習の不足部分や実務能力を高める機会とする。 ・学生生活とは異なる社会人としてのあるべき姿を、現場の方々のご指導や助言をもとに学び、自己課題を明確に出来る機会とする。				
到達目標	・研修先の業界の特徴を3項目以上挙げられる。 ・研修内容を整理し、課題を発見する事が出来る。 ・次段階の目標を設定し、実行の計画を立案する事が出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	研修前学習1 ①働くことの意義 ②社会での企業の役割 ③社会人基礎力の理解 ④研修先企業の情報収集			5
	2	研修前学習2 ①接遇マナーの再確認(演習) ②研修先業種・職種の専門業務知識の理解 ③個人情報について ④守秘義務について ⑤研修に必要な書類作成・準備			5
	3	企業研修2【業務補助型研修】 学校で学んだ知識や技術をもとに現場での業務の補助業務を行う			42
	4	企業研修3【業務参画型研修】 実践的な実習でこれまでの経験をもとに自身の課題点を振り返り、改善を行うと共に企業側への提案等を行う			50
	5				
	6				
	合計時間数				102
	教科書	特になし			
時間外学習	研修等で得た知識等は、研修中にメモをするなどし、その後個人でマニュアル化しておくこと。 また、研修内容は報告書に記入後提出してもらうので、研修時間外にまとめておくこと。				
成績評価方法	コミュニケーション・職業意識・接遇マナー・業界理解の4項目について3段階評価を実施 4項目評価の平均点が2.1～【優】1.1～【良】1【可】 80%以下の出席【不可】				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介		各団体担当			